

おでかけしらかわ・ひがししらかわ運行見直し概要

(令和4年10月1日改正)

1. 白川病院バスとの統合（蘇原地区・佐見地区）

■統合の方針

- ・白川病院バスを廃止し公共交通に統合する。
- ・公共交通で月曜日～土曜日まで毎日通院できる運行を確保するとともに通院時間帯の運行を増便し、通院帰りに買物等の用事にも使いやすい利便性の高い運行とする。
- ・白川病院への通院利用については白川病院が運賃を負担して無償とする。
- ・白川病院バスの運行縮小による経費削減額の範囲内で公共交通運行費を負担する。

2. 濃飛バス白川中央線の見直し

■蘇原・黒川方面から通院に利用可能な便の増加

- ・9時～13時台の便を「マツオカ白川店～道の駅ピアチェーレ・よいいち」間の折り返し運行とする。（10時台の「下油井駅」発着便を「道の駅ピアチェーレ・よいいち」発着に変更し運行本数を増加）

〔現 状〕 白川病院 着 2本（9:04着、10:34着）
白川病院 発 3本（11:02発、12:17発、13:12発）

〔見直案〕 白川病院 着 5本（9:05着、9:40着※、10:12着、10:56着、11:40着）
白川病院 発 5本（10:20発、11:04発、11:48発、12:17発、13:12発）
※9:40着は予約制バス（そはらGO）による直通便

- 現状では、白川病院からの帰りや買物先への移動に対応するため、多いときは日に8回ほど予約制バスで白川病院まで迎えに行っており、午前中は予約制バスが通院以外に利用ができない。
- 10時台に予約制バス佐見いこカーの運行を白川病院まで延長することで、その時間に「下油井駅」まで運行していた濃飛バス白川中央線を手前の「道の駅ピアチェーレ・よいいち」までに短縮し、「マツオカ白川店～道の駅ピアチェーレ・よいいち」間の午前中の運行本数を増やす。
- 白川中央線の増便によって、蘇原方面への帰りや白川病院から白川口や三川方面への買物での白川中央線の利用を促すことができ、余裕ができる予約制バスの利用用途の拡大を図る。

- 乗り継ぎ拠点としている「マツオカ白川店」で白川中央線の到着と出発を同時刻とすることで予約制バスと相互に乗り継ぎが可能となり、待ち時間が大幅に短縮し乗り継ぎ環境が改善する。
- 課題となっていた J R 白川口駅 11:03 美濃太田行きの列車に蘇原、黒川方面から白川中央線を利用して接続可能とする。

■白川中央線の見直しに関連して変更となる運行

- ・現在、朝 8 時台の黒川地区は「8:10 奥新田発（濃飛バス）」、「8:20 柿反発（スクールバス）」「8:10 黒川地内（黒川ハッピー）」の 3 台で運行しているが、白川中央線の見直しにより「8:10 奥新田発（スクールバス）」と「8:10 黒川地内（黒川ハッピー）」の 2 台での運行となる。
- ・スクールバスで定期運行していた次の便は、利用者がいないため予約制バスでの運行に変更する。

「11:00 白川病院発、11:24 波反着」

「14:19 マツオカ白川店発、14:40 道の駅ピアチェーレ・よいいち着」